

#### 4. ペレタイズユニット

No.	問題	原因/解決
4-1	ペレタイズブレードの交換方法	<p>(1) ペレタイズブレードを位置付けするだけではなく、写真のような方向に従ってペレタイズブロックのトラック部にペレタイズブレードを押し込んでください。</p> <p>(2) 押付け板をねじ込みます。</p> <p>(3) 押付け板、ペレタイズブレード、ペレタイズブロックが同じ平行線上にあることを確認してください。</p> <p>(4) ペレットブロックを駆動ロッドに取り付けます。</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;">       </div>
4-2	ペレットの形状がおかしい	<p>1. ペレタイズブレードがダイプレートの表面にしっかりと接触していない。</p>

- (1) ペレタイズブロックをダイプレートに近づけるために、圧力を上げるためにスイッチを時計回りに回して圧力で調整してください。
- (2) 段階的に調整してください。一回に少しだけスケールを調整することをお勧めします。
- (3) 通常、圧力は 30～50kgf/cm<sup>2</sup> 程度に設定します。

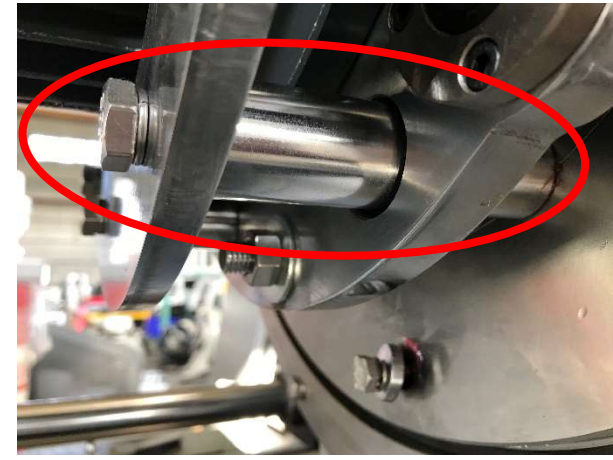
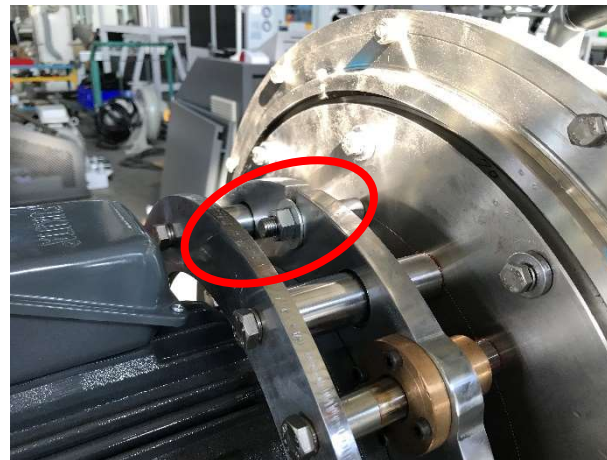


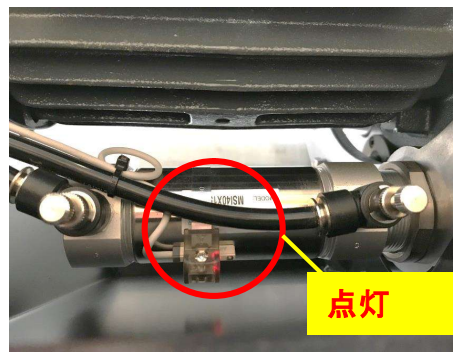
## 2. ペレタイズブレードの磨耗

- (1) 摩耗したペレタイズブレードは、不完全なペレットを引き起こします。ペレタイズブレードを研ぐか、新しいペレタイズブレードに交換してください。

## 3. ペレタイズブロックからダイプレートまでの距離を調整する必要がある。

- (1) 圧力を調整したり、ペレタイズングブレードを研いだり交換したりしても、ペレットの状態が悪い場合はペレタイズングブロックからダイプレートまでの距離を調整できるネジを調整してみてください。ダイプレートまでの距離を調整することができます。





4-3 ペレット/材料ウォーターリングに付着してしまう

**1. 冷却水が不足している**

(1) ウォーターリング内の冷却水を増やしてください。

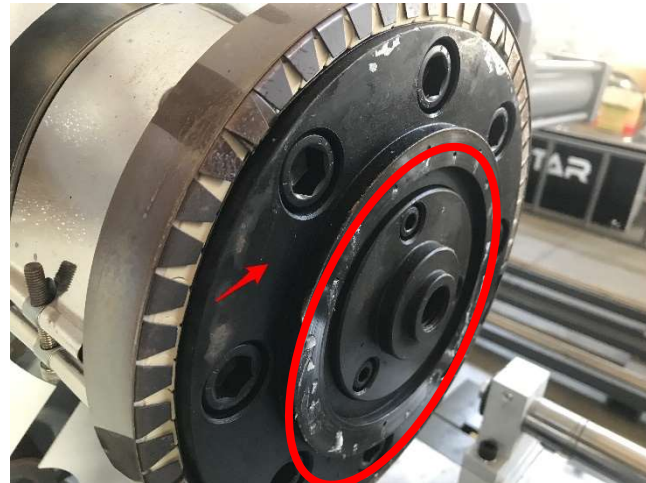
**2. ペレタイズブレードの位置を修正する**

(1) ペレタイズブレードがダイプレートの表面に正しく取り付けられていることを確認してください。

(2) 材料が PE の場合、4 枚のペレット化ブレードを使用してください。PP の場合、2 枚を使用してください。

(3) ペレタイズブレードがダイプレートの表面に残っていないか確認してください。(赤丸)

(4) ペレタイズブレードが磨耗していないか確認してください。



4-4 ペレット同士がくっつく/柔らかすぎる

**1. 冷却水温度が高すぎる**

(1) 水槽の水温を下げてください。(25-35° C)



## 2. ペレタイズブレードの位置を修正する

- (1) ペレタイズブレードがダイプレートの表面にしっかりと取り付けられていることを確認してください。
- (2) 材料が PE の場合、4 枚のペレタイズブレードを使用してください。PP の場合、2 枚を使用してください。
- (3) ペレタイズブレードがダイプレートの表面に残っていないか確認してください。(赤丸)



- (4) ペレタイズブレードが磨耗していないか確認してください。

## 4-5 ダイプレートの交換方法

- (1) 機械の運転が終わったら、コンベアの電源を切り、押出機に材料が送られないように、ホッパーとバレルアダプタの間のメカニカルバルブを閉じてください。



⚠️ メカニカルバルブが閉じていないと、温度が下がりきっていないために材料が溶けてしまい、ホッパーとバレルアダプターの間で材料が固着してしまいます。

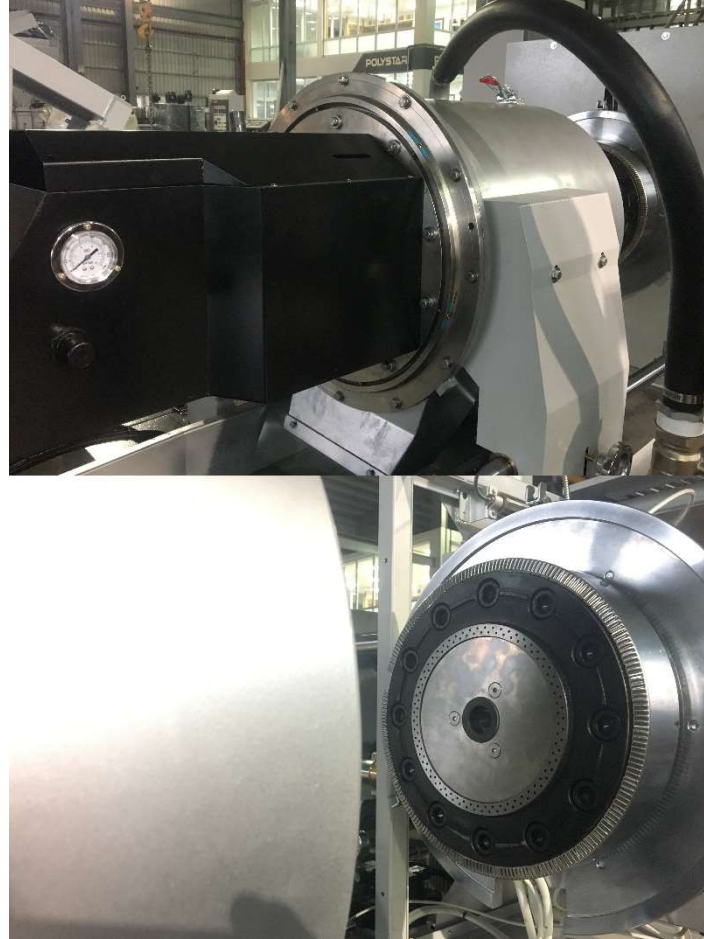
- (2) ペレットの排出が止まったら、押出機のモーターをオフにします。
- (3) ペレタイザーモーター→水ポンプ振動モーター→遠心乾燥機(有る場合)→搬送ブロウを停止し

参考ビデオリンク:  
[https://youtu.be/g\\_oCwLddFTs](https://youtu.be/g_oCwLddFTs)



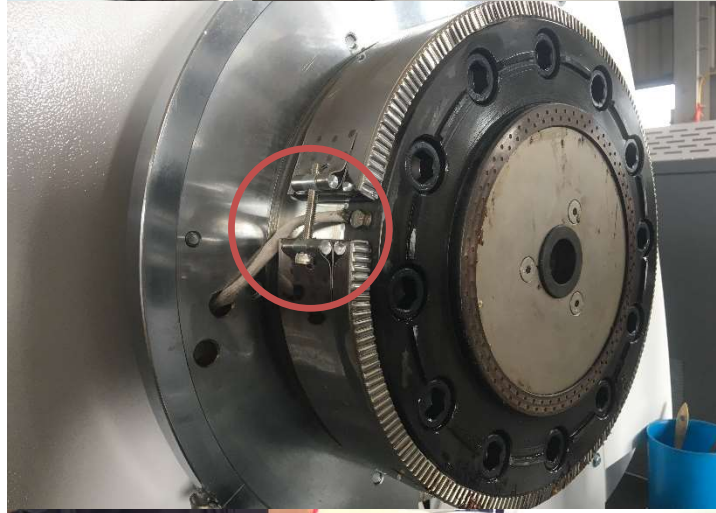
てください。

- (4) 水タンク/振動タンクの給水口を OFF にして、水が逆流しないようにしてください。
- (5) ダイの電源を OFF にします。
- (6) ウォーターリングを開きます。



⚠ 分解時は絶縁手袋を着用してください。

- (7) ダイプレート上のセラミックヒーターを取り外します。セラミックヒーターのボルトを緩め、セラミックヒーターを注意深く取り外します。



⚠ 分解時は絶縁手袋を着用してください。  
(8) ダイプレートの温度計測点を取り外します。

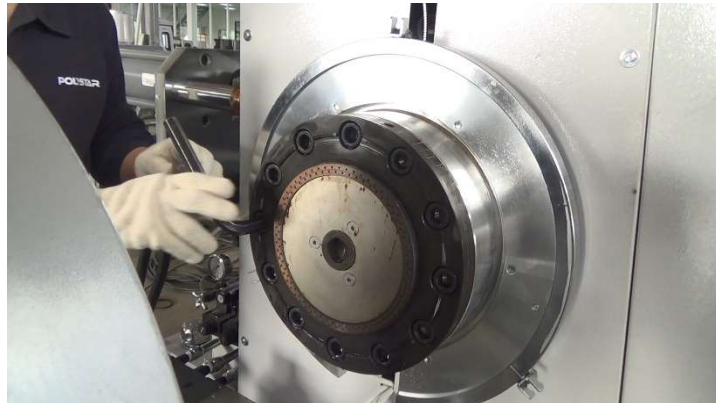




⚠️ ダイの電源が OFF になっていることを確認してください。

⚠️ 分解時は絶縁手袋を着用してください。

(9) ダイプレート**の**ボルトをすべて取り外します。

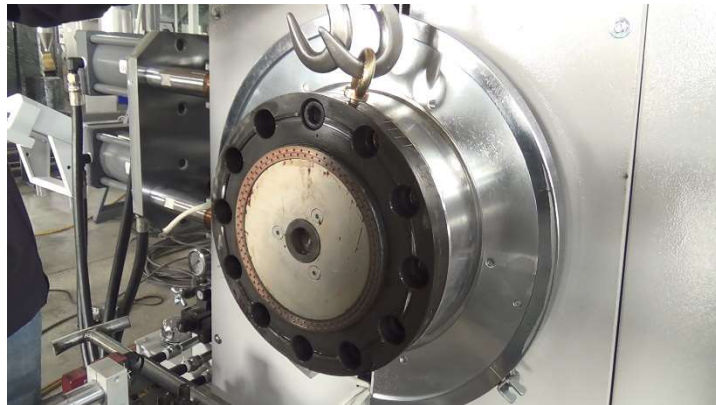




⚠ 分解時は絶縁手袋を着用してください。

⚠ 補助として鉄管を使用すると、力を加えやすくなります。

(10)最後のボルトを取り外す前に、吊り具を取り付け、クレーンでダイプレートを引っ掛けてください。

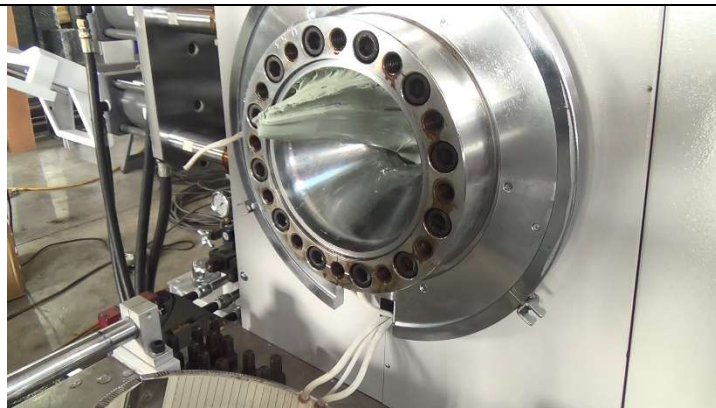


⚠ 分解時は絶縁手袋を着用してください。

(11)ダイプレートを取り外します。







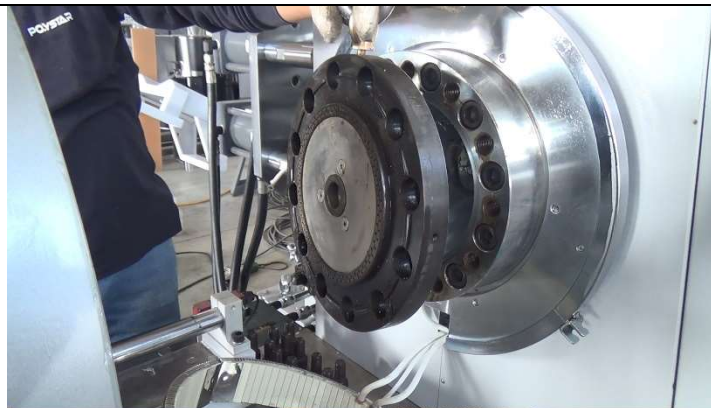
⚠ 分解時は絶縁手袋を着用してください。

(12) 残った材料を洗浄します。



⚠ 分解時は絶縁手袋を着用してください。

(13) 新しい/綺麗なダイプレートと交換します。



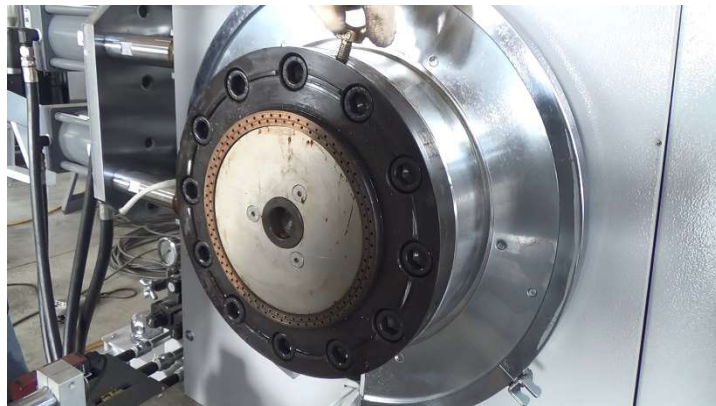
⚠ 分解時は絶縁手袋を着用してください。  
(14)ダイプレートのボルトを締めます。





- ⚠ 確実にロックしてください。
- ⚠ 補助として鉄管を使用すると、力を加えやすくなります
- ⚠ 分解時は絶縁手袋を着用してください。
- ⚠ ダイプレートのボルトを固定する前に、クレーンと吊り具を取り外さないでください。

(15) ダイプレートが固定されたら、吊り具を取り外します。



- ⚠ 分解時は絶縁手袋を着用してください。

(16) ダイプレートの温度ポイントを締め直します。

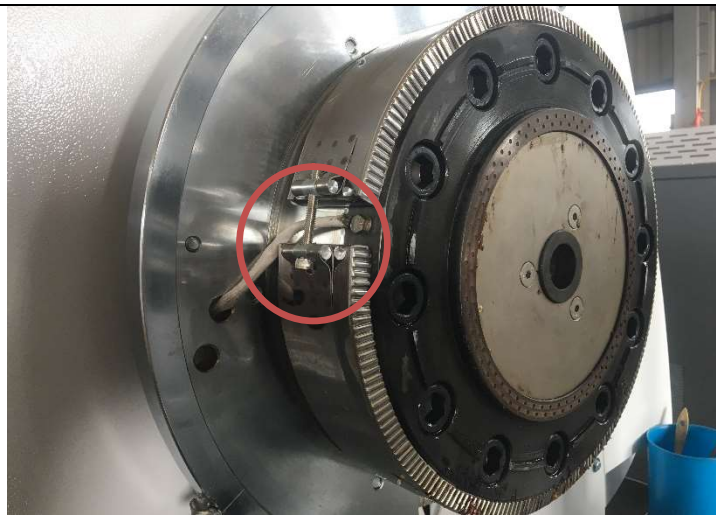






⚠ 分解時は絶縁手袋を着用してください。  
(17)セラミックヒーターを締め直します。





⚠ 分解時は絶縁手袋を着用してください。  
(18) ダイプレートにシリコングリースを塗布します。



⚠ スプレー式のシリコンオイルは使用しないでください。  
⚠ 分解時は絶縁手袋を着用してください。  
(19) ウォーターリングを押し戻し、しっかりとロックします。



4-6

## ダイプレートの清掃方法?

参考ビデオリンク:

<https://youtu.be/3W1bK3t7mVg>



(1) ダイプレートを分解します。ダイプレートを平らにして、送り出し側(穴の大きい方)を上置きします。

▲ ダイプレートを機械から分解する際はダイユニットを加熱する必要があります。

(2) 以下のツールを準備する:

(a) 電動ドリル

(b) ドリルビット(大)とドリルビット(小)

- ドリルビット(大)のサイズ:  $\varnothing 5\text{mm}$ 。

- ドリルビット(小)のサイズ: 送り出し穴径

(例えば、ダイ送り出し穴が  $\varnothing 2.5\text{mm}$  の場合は、 $\varnothing 2.5\text{mm}$  ドリルビットを用意します。)

(3) ドリルビット(大  $\varnothing 5\text{mm}$ )を組み立てます。

ダイプレートの送り出し穴に穴を開け、既存の材料を取り除きます。すべての穴をクリーニングする必要があります。



(4) ダイプレートを反対側に回します。

ドリルビット(小)を組み立てます。

ダイプレートに排出側に穴を開け、既存の材料を取り除きます。

(5) 穴明け後、ダイプレートを送り込み側、送り出し側の両方からダブルチェックし、すべての穴が 100%空になっていることを確認してください。既存の材料がある場合は、再度穴明けを行い、洗浄してください。

(6) スクレーパーを使用して、ダイ穴の横に残った材料をクリーニングします。



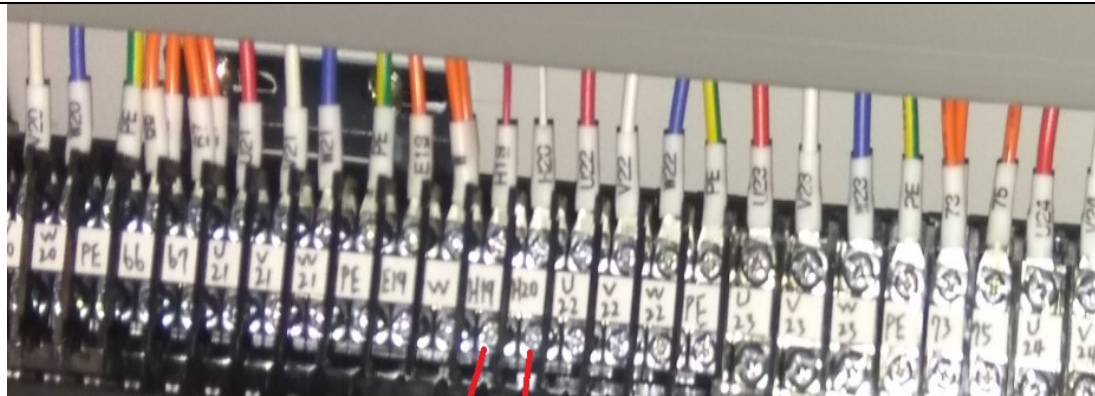


⚠️ ダイプレートを本機に組み立てる前に、完全に清掃してください。

4-7	ペレタイズブレードの消耗が早い	<b>動作不良</b> (1) 加熱中はペレットブロックを取り付けないでください。 (2) ペレットブレードを強く押し付けすぎないでください。 (3) ダイプレートから材料が出る前に、ペレタイズユニットを高速で運転しないでください。 (4) ダイの穴を清掃します。
4-8	ウォーターリングの入口と出口がよく石灰化する	<b>冷却水のカルシウムの含有量が多いことが原因である可能性があります</b> (1) 水中に酢をいくらか加えてください。

## 5. 水槽

No.	問題	原因/解決
5-1	水槽温度が異常な数値を示す	(1) 端子台から H19、H20 を外してください(この 2 本は水槽の温度センサ用ケーブルです) (2) 1 本のケーブルで端子台を短絡します。



- (3) 短絡後、水トラフ温度用の電源を再起動します。温度が正常であれば、おそらく温度センサーに問題があります。
- (4) 水の流れを手動に切り替えると、「タックタック」という音が聞こえます。これは電磁弁が作動していることを意味します。
- (5) 電磁弁の前には手動バルブがあるため、手動バルブも開いていることを確認し、水が入るようにしてください。
- (6) その際、電磁弁が正しく組み立てられているか、再度確認してください。

